



JAAS アカデミー

*Academy of Japanese AntiAging Surgery and Regenerative
Medicine for Rejuvenation*

JAAS アカデミー「技能認定医制度」について

制度創設の趣旨

美容外科において最も大事なことは、手術の能力である事は疑いもない。しかし手術トレーニングを十分受けずに手術を行う医師が急増していることは美容業界全体として憂うべきことでもある。これは、手術を受けるべき患者側からすると、医師の手術技能を判定をしにくいという危うさをもたらす。諸学会からは、認定医制度や専門医制度が設立されて久しいが、こと手術の『実技評価』という点ではあいまいだったことも否めない。これらの認定試験において『実技試験』が無いためである。JAASアカデミーでは、各々の手術の必要にして十分なる手術技能を「評価するシステム」構築を検討してきた末、「技能認定医マーク」制度の創設に至った。技能検定による認定医制度は、日本初！とあっていい。

検定、評価の流れ及び技能認定称号の普及への支援

技能検定、評価の流れとしてまず、この試験を受ける医師（一般社団法人JAAS会員であり認定医もしくはそれに準ずる資格*制度規則にて後述）は、事前に患者登録を行う必要がある。手術後に『出来のいいもの』だけを選択的に提出してしまつては、評価の信憑性に欠けるからだ。また、その経験値についても少なからず問うこととした。『数万件の実績』というような実現不可能な数値を挙げ、あたかも手術に関してエキスパートであるかのような表現も散見されるためだ。

検定申請に当たり、自分の履歴（所属学会は、問わない）、提出手術の種別、最近3年間の手術件数、またその内訳を提示してもらおう。そして動画申請となる。動画症例は2症例とし、術前に事前登録を行い、手術動画を術野（近景）はもちろんのこと、遠景撮影の提出も義務付けられる。これは動画提出者と手術術者が同一であることを証明するためのもので、録画した動画の信ぴょう性、正当性を担保するものであることはいままでもない。

また、同治療内容の実症例を他に3症例提出してもらおうことを必須条件とした。

評価する複数の審査委員の先生方には、動画提出の執刀医の名前は明かされずに、手術動

画、及びその術前術後の状態写真によってのみ平等な評価をしていただく。ちなみに、受験者にも審査する医師が誰なのかはもちろん伝えないことは言うに及ばない。いわば完全ブラインドテストともいふべき評価・審査システムを採用する。これにより、審査員と受験者の人間的な関わり合いから来る『甘え』を排除することとした。

ジャッジする評価委員会は、アカデミー学長の山本 豊医師、副学長の中間 健医師に加え、韓国からは眼瞼形成の第一人者 Choi Woon Chul 医師に加え、最終的には10人前後の臨床医で構成される（現在、各部門専任の評価委員にはしかるべき技能を有する医師を選定中で12月には正式に発表されるが、それぞれの部門で3名程度のジャッジ人を置くことにしている）。当面はアカデミーが選定した評価委員による技能検定を行っていくが、「技能認定医」を取得した医師のなかで類まれな技能が認められた医師らには審査員としての称号も与える方針だ。

「技能認定医」取得の後には、ホームページ内でその医師の動画を3分程度抜粋して会員限定に公開することとし、その医師の臨床能力が偽られたものでないことを会員に広く知らせることとした。ジャッジは、各部門別とし、『眼瞼』、『鼻』、『リフト』、『ボトックス、ヒアルロン酸等注入物』『脂肪吸引・豊胸』の5部門とし、各部門での称号を与えることとする。たとえば、眼瞼では『美容アンチエイジング外科の技術を研鑽するドクタースクール・JAASアカデミー 技能認定医 眼瞼形成 ○○○○医師』というマーク授与と、クリニック受付に備え付ける刻印のプレートが用意される。

グルメレストランガイドとして知られる [Red Book] 通称ミシュランガイドそしてグルメ評価別に授与される3つ星5つ星の等級をつけたレストランのように、美容クリニック版ともいふべき制度の発足となる。

JAASアカデミーは一方で、公式サイト <http://jaas-academy.com> を、医師向けだけでなく一般ユーザー向けの露出アップのために、SEO対策などの整備をし直しており、技能認定医のクリニックとの相互リンクを張ることで、本称号がクリニックの集患に大きく貢献することをサポートしていく。

技能認定医制度規則

(はじめに)

本制度はいわゆる専門医を認定するのではなく、一般の医師に対しても広く技能を認定し、これにより美容医療のスキル向上と美容医療の啓蒙をはかるとともに、数多い治療希望者に対する一定以上の技能を行ない得る医師の育成と教育とその技能認定を目的とする。技能認定医の条件は

- 1 JAAS 一般社団法人 日本アンチエイジング外科・美容再生研究会の正会員 A として所定の手続きを行い、毎年会費を完納していること。
- 2 上記団体において「認定医」を取得している、もしくは JAAS アカデミーのライブ講習

会・派遣/ライブ研修・解剖実習などの海外研修に、申請時点から起算して過去1年間で「山本美容整形塾」に5回以上参加していること。

3 上記の1~2の資格を有し、所定の申請書類を提出したもの。

(目的および認定基準、認定審査の流れ)

第1条 JAAS アカデミー認定の技能認定医制度は、必要にして十分な技能を持つ美容医療医を認定することにより、わが国における美容医療の技術向上、進歩発展とその水準の向上を図り、もって美容医療業界ならびにマーケットに真に寄与することを目的とする。

(義務)

第2条 技能認定医は、美容医療を通じ国民の若さの維持と美容健康長寿のために、幅広い美容医学の進歩と発展のために尽力しなければならない。

(認定)

第3条 技能認定医は、一般社団法人 JAAS 日本アンチエイジング外科・美容再生研究会の学会会員である医師(正会員 A)でかつ、JAAS 認定の認定医を有する者もしくは、正会員 A でありかつ、JAAS アカデミーの「山本美容整形塾」に申請からさかのぼって過去1年間で4回以上の受講経験を有し、規定要件を満たす中で申請され、検定審査の上、認定する。

(1) 検定認定医の申請には、履歴書(所属学会は問わない)、提出手術の種別、最近3年間当該手術件数およびその内訳など、認定医証明コピーあるいは講習会研修の修了証明コピーなどの必要書類に加えて、動画収録の DVD 提出、そして審査・検定評価料(60,000円税別)を添えて研究会事務局に提出する。

(2) 動画症例は2症例とし、術前に事前登録を行い、手術動画を術野(近景)はもちろんのこと、遠景撮影の提出も義務付けられる。これは動画提出者と手術術者が同一であることを証明するためのもので、録画した動画の信ぴょう性、正当性を担保するものであることはいふまでもない。また、同治療内容の実症例を他に2症例提出してもらうことを必須条件とする。

(3) 評価する複数の審査員には、動画提出の執刀医の名前は明かさず、手術動画、及びその術前術後の状態写真によってのみ平等な評価をしていただく。ちなみに、受験者にも審査する医師が誰なのかはもちろん伝えないことは言うに及ばない。いわば完全ブラインドテストともいふべき評価・審査システムを採用する。これにより、審査員と受験者の人間的な関わり合いから来る『甘え』を排除することとした。

(4) ジャッジする評価委員会は、アカデミー学長の山本 豊医師、副学長の間 健医師に加え、韓国 Choi Woon Chul 医師、さらに各部門専任の評価委員にはしかるべき技能を有する医師を選定中で、12月には正式に発表されるが、それぞれの部門で3名程度のジャッジ人を置くことにしている。また当面はアカデミーが選定した評価委員による技能検定を行っていくが、「技能認定医」を取得した医師のなかで類まれな技能が認められた医師らには審査員としての称号も与えることとする。なお、審査にあたる審査医の職務はその認定審査とし、運営その他に対する責務は追うことはない。また審査はブラインド審査とする

ことから、その審査結果を開示することはなく審査結果に対する責務も追わず、すべてその責務は審査委員長並びにアカデミーの管轄となる。

(5)認定は審査委員が書類を審査および技能評価のモノサシとなる動画審査を行い、適切と認められた者を技能認定医合格者として報告する。これを受け、所管の事務局から Web 上に貼るバナーを交付し、技能認定医登録簿に登録することによって行われる。バナーは、当該クリニックの Web はもちろん、JAAS アカデミーの公式サイトにも掲載され相互リンクを張ることが義務付けられる（ユーザーからの技能検定および認定医の信頼性を担保するために評価を行うアカデミーの概要が必要であり、かつアカデミーからユーザー向けにも検索アップをはかるため）。さらに、クリニック受付などに備え付ける技能検定医の刻印プレートも授与される。

(6)「技能認定医」取得の後には、JAAS アカデミー公式サイト内でその医師の動画を3分程度抜粋して会員限定に公開することとし、その医師の臨床能力が偽られたものでないことを会員に広く知らせることとする。

(7)ジャッジは、各部門別とし、『眼瞼』、『鼻』、『リフト』、『ボトックス、ヒアルロン酸等注入物』、『脂肪吸引・豊胸』の5部門とし、各部門での称号を与えることとする。たとえば、眼瞼では『美容アンチエイジング外科の技術を研鑽するドクタースクール・JAAS ACADEMY 技能認定医 眼瞼形成 ○○○○医師』というマーク授与と、クリニック受付に備え付ける刻印のプレートが用意される。

(8)審査委員会により技能検定の合格の通達を受け所管の事務局より、認定医に通達する。その上で、技能認定医の称号登録料（100,000 円税別 有効期限 2 年間）が完納した時点で上述のバナーおよび刻印プレートの発布となる。なお更新までの 2 年間に継続的な研さんを図るために JAAS アカデミーのライブ講習会を 3 回以上受講しなければならない。

（更新後の技能認定医審査）

第 4 条 更新後の技能認定業務をおこなうため、審査委員会が一年に 1 回再評価を開催するための技能認定医再評価委員会を置き、評価を行う。

（認定医の取消）

第 5 条 技能認定医が、退会その他条件に欠けることが生じた場合、学長ならびに副学長は審査委員会に報告し、学長によって認定を取り消すことができる。取消は技能認定医登録簿の記載を抹消する。

第 6 条 退会処分の関わる規定は、別紙 JAAS アカデミー受講資格同意書に準ずる。

（改廃）

第 7 条 この制度の改廃は、JAAS アカデミー学長、副学長議を経て、学長が承認する。

（付則）

第 8 条 この制度は、平成 27 年 12 月 1 日から施行する。

（附則）

第 9 条 随時選定される審査員の増員をみて、附則において審査委員の名前を表記するも

のとする。